

平成28年(2016年)8月発行

いんぷおめーしょん information

(「くにたちのとしょかん」通号128号)

くにたち中央図書館

〒186-0003 国立市富士見台 2-34

☎042-576-0161

くにたち北市民プラザ図書館

〒186-0001 国立市北 3-1-1 9号棟

☎042-580-7220

<https://www.library-kunitachi.jp>

オリンピック！ オリンピック！

いよいよ、4年に1度のオリンピック開幕です。今年は近代オリンピック史上(いえ、オリンピック史上)初の南米大陸での開催です。未開催の大陸は残すところアフリカ大陸のみとなりました。観客収容力等の増大のための巨大化や様々な競技ごとの施設の建設は、今回の開催地でも国内世論に大きな影響を与えており、大統領の職務権限停止と言った状況ともなっています。4年後の東京オリンピックも、当初の予定(試算?)をはるかに超える数字が飛び交っています。一度決まると引き返せないのが「オリンピック開催」でしょうか。

とはいえ、世界中のアスリートたちが、このオリンピックを目指しトレーニングを続けた結果示される成果は、私たちに感動をもたらすことでしょう。

なぜ4年に一度？

世界大百科事典(1988年初版 2007年改訂新版発行 平凡社刊)には約6ページにわたりオリンピックに関する記述があります。オリンピックは古代ギリシャの主神「ゼウス」に捧げる祭典競技でした。神に捧げる祭典としては、他にアポロン・ポセイドンに捧げられるものがありましたが、中でも最も盛大で歴史も長かったのが、オリュンピアの祭典です。古代ギリシャの競技の歴史は神話時代にさかのぼりますが、競技の起源に定説はありません。記録に残る最初のオリュンピア競技は紀元前776年。その後4年ごと開かれ、紀元後393年の293回まで1169年間の長きにわたり続けられました。

1894年「スポーツによる青少年教育の振興と世界平和実現のために、古代オリンピックを復興しよう」とのクーベルタン男爵(フランスの教育学者)の呼びかけがきっかけとなり、同年、パリ大学で開催されたフランス・スポーツ連盟主催の国際会議で、オリンピック復興が全会一致で決定しました。13カ国15人によるメンバーでIOCが結成され、近代オリンピックはこの後4年に一度の開催となります。

日本とオリンピック・女性とオリンピック

もともと神に捧げられる祭典としてあったオリオンピュア競技出場者は、男性に限定されていました。近代オリンピックも初期のころは女子の競技がありませんでしたが、日本が初めて参加

した第5回オリンピックストックホルム大会（1912年：スウェーデン）では、新たに女子の水泳競技が加えられています。また、第9回のアムステルダム大会（1928年：オランダ）では女子陸上競技が採用され、女子スポーツの将来に新しい展望が開かれました。日本人選手では人見絹枝が女子800メートルで2位に入賞しています。

現在も、宗教やその他各国の事情から、女子が参加できない競技がありますが、初期の大会から比べれば性差ははるかに小さくなりました。



戦争・国家間の対立とオリンピック

クーベルタン男爵の想いとは裏腹な事態も起こっています。

スポーツによる世界平和を目指したオリンピックですが、世界の大きな流れの影響を受けずにはいられません。第一次大戦では1916年ベルリンでの開催が中止となっています。1920年のアントワープ大会（ベルギー）は平和回復を祝った大会となりましたが、この時初めて「五輪旗」が翻りました。

第二次世界大戦関連では、日中戦争の激化により1940年に予定されていた東京大会が、日本政府により中止の決定がなされています。IOCは1940年開催代替都市としてヘルシンキ、1944年開催地としてロンドンを指定しましたが、いずれも中止となりました。

第二次大戦後は中止こそありませんが、1972年ミュンヘン大会（西ドイツ）では、パレスチナ・ゲリラによるイスラエル選手殺害と言った悲しい事件が起こっています。また、1980年モスクワ大会はソ連によるアフガニスタン侵攻に対する制裁措置として西側諸国が、1984年ロサンゼルス大会は、ソ連がアメリカ政府によるソ連選手団受入措置をオリンピック検証違反として「ボイコット」しています。

過去の二つの大戦のように世界中が戦闘に巻き込まれているわけではありませんが、世界の各地で毎日のようにテロが起こっています。この大会も4年後の東京大会も、世界平和のためお互いを理解し合える大会となるよう祈るのみです。

政治・人種・経済などさまざまな課題とオリンピック

このオリンピック憲章の定める権利および自由は人種、肌の色、性別、性的指向、言語、宗教、政治的またはその他の意見、国あるいは社会のルーツ、財産、出自やその他の身分などの理由による、いかなる種類の差別も受けることなく、確実に享受されなければならない。

これはオリンピック憲章根本原則の条項の一つです。今でこそ人種・民族・肌の色・性別といった垣根を越えた大会となっていますが、第11回ベルリン大会では、開催の条件としてヒトラー政権に対して「ユダヤ人を排除しない」という誓約をとりつけました。

また、戦後は「二つの中国」問題や東西ドイツ・南北朝鮮合同チーム問題など多くの国家間の課題。1972年第20回ミュンヘンオリンピックではパレスチナ問題に端を発したテロ事件の発生

と、国家間、民族間の課題は絶えることはありません。



人種に関して初めて関心をも持たれたのは、1904年セントルイス大会（アメリカ合衆国）でのこと。会期中2日間を使い、アフリカ黒人・アメリカインディアン・日本のアイヌ・南アメリカパタゴニア族・フィリピンモロ族・メキシコココバ族などを集め「人類学競技（Anthropological Game）」が行われました。100ヤード競争、走幅跳び、砲丸投げ、やり投げなどの陸上競技で争われ、アメリカインディアンが最も優秀な体力を発揮しました。この競技には「見世物」との批判もあったようですが、これを契機にアメリカスポーツ界では黒人選手の活躍の場を得ることとなります。

しかし、人種の問題はこれで解決したわけではなく、IOCは1970年に南アフリカ共和国の人種隔離政（アパルトヘイト）への抗議として、1975年にはローデシア(*)政府の人種差別への抗議と除名処分を行っています。

(*) 南アフリカザンビア・ジンバブエを合わせた地域の名称。1965年、イギリスの反対を押し切って独立宣言を行った白人政権が使用していた国名。1980年、ジンバブエとして独立。

オリンピック世界大会は回を重ねるごとに規模が大きくなり、環境問題や財政問題に直面する事態となっています。1976年の冬季大会開催地に予定されていたデンバー（アメリカ合衆国）のあるコロラド州では、オリンピック開催による環境破壊に反対する住民運動が起こり、1973年の住民投票で反対派が圧勝。開催権を返上する事態となりました。

2020年の東京大会も、国立競技場建設や湾岸競技場と周辺整備にかかる経費問題が新聞を賑わせたのはつい先ごろのことです。環境問題も財政問題も注視する必要があります。

オリンピック関連の資料

IOC オリンピックを動かす巨大組織 猪谷千春／著 新潮社 2013.2 分類 780/69/

五輪開催地はいかに決まるのか。東京招致の鍵は。全世界が注目し、巨額マネーがうごく「世界最大の祭典」を操るIOC。その知られざる内幕、変遷を、30年にわたる委員活動で副会長も務めた著者が明かす。

オリンピア ナチスの森で 沢木耕太郎／著 集英社 2007.7 分類 B/さ/

オリンピック絵事典 感動のドラマの記録 オリンピックがよくわかって楽しめる! PHP研究所／編 PHP研究所 2004 分類 児童 78//

オリンピック外史 第一次大戦をはさんだ二つの大会 鈴木良徳／著 ベースボール・マガジン社 1980.8 分類 780/69/

オリンピック・シティ東京 1940・1964 片木篤／著 河出書房新社 2010.2 分類 518/8/

オリンピックを契機として、東京はどのように変わったのか。第12回・第18回オリンピック東京大会を、都市・建築の視点から読み解くことで、戦前から戦後にかけての首都・東京とその建築の変容を浮き彫りにする。

オリンピック全記録 ロンドン五輪が100倍楽しくなる!! ハイライト&(珍)エピソード600連発 菅原悦子／著 大空出版 分類 780/69/

ロンドン五輪の見どころを特集し、全競技・種目別日程表から世界・日本記録までを完全網羅。さらに近代五輪全26大会を新聞風に再現。名所を巡るマラソンルートMAPも掲載。永久保存版の五輪事典。

オリンピック全大会 人と時代と夢の物語 武田薫／著 朝日新聞社 2008.2 分類 780/69/

近代オリンピックは1世紀を生き延び、出場選手は延べ12万人を超えた。政治や時代を背景に、スタジアムの内外で繰り広げられてきた無数のドラマを、オリンピック第1回から第28回までの全大会を通して語る。

オリンピックと商業主義 小川勝／著 集英社 分類 780/69/

オリンピックの背後では、放映権料、スポンサー料など莫大な金が動く。果たして、オリンピックが「商業主義」を実践するのは是なのか非なのか。五輪礼賛でも金権批判でもないスタンスで、この問題を深く掘り下げる。

〈オリンピックの遺産〉の社会学 長野オリンピックとその後の十年 石坂友司／他編著 青弓社
2013.11 分類 780/69/

長野オリンピックはどのようなプロセスで開催され、その遺産はどう活用されてきたのか。オリンピックの遺産の功罪を冷静に評価・分析。経済効果だけでは計れないメガイベントの正と負の効果を浮き彫りにする。

オリンピックの光と影 東京招致の勝利とスポーツの力 結城和香子／著 中央公論新社

2014.1 分類 780//

東京はなぜ勝ったのか。IOC取材20年のベテラン記者が、招致の舞台裏を描くことによってオリンピックの魔法と深淵を読み解き、同時に世界のスポーツが直面する問題を伝える。

オリンピックのルーツを訪ねて 古代ギリシアの競技大祭 西川亮／他著 協同出版

2004.7 分類 780/69/

近代オリンピック100年の歩み ベースボール・マガジン社 1994.7 分類 780/69/

古代オリンピック 桜井万里子／他編(岩波新書 新赤版901) 岩波書店 2004.7 分類 S

五輪ボイコット 幻のモスクワ、28年目の証言 松瀬学／著 新潮社 2008.6 分類 780/69/

オリンピック不参加という、日本スポーツ史上最悪の「敗北」。あの時、何が起こっていたのか。高田裕司、瀬古利彦など、騒動の渦中にいた人たちの証言から、スポーツと政治の関係を改めて問うドキュメント。

これならわかるオリンピックの歴史Q&A 石出法太／他著 大月書店 2016.4 分類 YA780/69/

古代オリンピックのはじまり、第1回アテネ大会、近代オリンピックのあゆみ、戦争とオリンピック、オリンピックと商業主義…。オリンピック・パラリンピックの歴史を、光と影の両面をふまえながら、豊富なビジュアルでまとめる。

16歳から知るオリンピックの軌跡 清水ひろし／著 彩流社 2015.9 分類 YA780/69/

古代オリンピックから1964年東京オリンピックまで。知られざる選手の努力、感動の名場面、各国が抱えていたオリンピック開催までの苦悩を、歴史的背景とともにわかりやすく描く。

スポーツと政治 オリンピックとボイコット。問題の視点 ベースボール・マガジン社

1987.12 分類 310/4/

世界を動かすプレゼン力 日本はこうしてオリンピックを勝ち取った! ニック・バーリー／他著

NHK出版 分類 780/69/

東京オリンピック招致成功の立役者のひとり、ニック・バーリーが明かす、世紀のプレゼンの舞台裏。その緻密な戦略とストーリーづくりを紹介。日本人が学ぶべき、プレゼンを成功に導く7つのポイントとは。

1964年の東京オリンピック 「世紀の祭典」はいかに書かれ、語られたか 石井正己／編

河出書房新社 2014.1 分類 780/69/

開催50年。今こそ「世紀の祭典」を追体験。名だたる作家たちの当時の観戦記から、対談：市川崑×沢木耕太郎、座談会：大宅壮一×司馬遼太郎×三島由紀夫、亀倉雄策ポスター、星新一短編までを収録。

地図で読み解く東京五輪 1940年・1964年・2020年 竹内正浩／著 (ベスト新書453)

ベストセラーズ 2014.11 分類 S

五輪開催までに東京はどう変貌するのか。招致活動から開催にいたる流れと、インフラを含む施設建設をテーマに、新旧地図や写真を用いながら、東京の発展とオリンピックを歴史の中に位置づける試み。

街場の五輪論 内田樹／他著 朝日新聞出版 2014.2 分類 780/69/

東京招致にまつわる違和感。「被災地はそれどころじゃない」など違和感を感じる人は多い。今、ニッポンには夢の力ではなく、現実を直視する力が必要だ。3人の論客が、7年後を見据えつつ今を直視する五輪鼎談。

全て図書館所蔵資料です。見つからないときは各階カウンター職員にお尋ねください。